

会 議 録 要 旨

会 議 名	令和6年度 第1回 大垣市介護保険運営協議会
場 所	大垣市役所 4階 情報会議室
日 時	令和6年8月7日 13:30～14:30
出 席 者	委員 11名 (別紙に記載) (事務局) 健康福祉部長 介護保険課：課長、主幹3名、主査1名 高齢福祉課：課長、主幹3名、主任ほか担当者3名 保健センター：課長2名
司 会	皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、令和6年度大垣市介護保険運営協議会の第1回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は本日の司会を務めさせていただきます、介護保険課長の冨永でございます。よろしくお願いいたします。 それでははじめに、沼口会長様よりごあいさつをお願いいたします。
会 長	《 挨拶 》
司 会	ありがとうございました。次に次第の3、「委員の紹介」に移らせていただきます。 委員の皆様方につきましては、本来であればお一人ずつご紹介させていただくところでございますが、時間の関係上名簿でのご紹介に代えさせていただきますのでご了承賜りたいと存じます。名簿はお手元の会議資料1ページ、資料No.1につけさせていただいております。 なお、このたび大垣薬剤師会の西脇委員が退任され、日比野靖様に新たに委員に就任いただきましたので、ご紹介させていただきます。本日はご欠席です。 また、本日の会議には飯尾委員、大橋委員、加藤委員から、ご欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。
会 長	次に次第の4、「議題」に移らせていただきます。これよりの進行につきましては沼口会長をお願いいたします。 議事に入ります前に、本日の会議につきましては個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。 本日は傍聴の方がお2人いらっしゃいます。中にお入りください。それではこれより議事に入ります。はじめに議題の(1)、大垣市高齢者福祉計画

## 会議録要旨

(第8期介護保険事業計画)の進捗状況について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 ≪資料No.2により説明≫

会長 ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

委員 7ページのコメントで、認知症対応型通所介護と看護小規模多機能型居宅介護の利用者数が減少している理由として、それぞれの事業所数の減によることとありますが、なぜなくなってしまったかをわかる範囲で教えてください。

事務局 認知症対応型通所介護につきましては、事業所の意向により、提供するサービスを地域密着型通所介護に移行したことによりです。認知症対応型に特化するのではなく、多くの人が使えるような地域密着型通所介護に切り替えたことで1事業所減っております。

看護小規模多機能につきましては、障がいサービスと介護サービスの2つを提供していた事業者が、障がいサービスに特化したいという意向により介護サービスを廃止しました。

委員 小規模多機能型居宅介護は在宅生活を有意義に送ることができる大変よいサービスだと思いますし、利用する人が増えていけばいいと思っておりますが、実際には利用者は少ないです。

もしかするとそのよさが十分に伝わっていない可能性があるのではないかと思いますので、アピールをしていただくとよいと思います。

委員 小規模多機能はよいサービスだと思いますし、必要に応じてご提案をさせていただきます。

訪問介護、訪問看護、居宅療養管理指導など、利用者が増えているサービスがありますが、その背景として、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入所する人が増えていることで、それらのサービス利用が増えていることが考えられます。

また、最近の傾向として、ナーシングホームのように、医療に特化した、医療依存度の高い方を受け入れる施設も増えてきており、病院から退院するにあたり、在宅での介護が家族としても大変ということで、そういった

## 会議録要旨

強みのある施設を紹介されることもあります。

小規模多機能は訪問、通所あるいは泊りのサービスを機能的に利用できるサービスですが、在宅サービスということで、家族が仕事などで不在がちだと、利用しづらいケースはあるようです。

会 長 以前から言われているように、ケアマネジャーが変わってしまう点も制度上の問題としてあるのではないかと思いますし、今ご説明いただいたように、家族の形態が変わってきていることも大きな要因かと思います。  
いろいろな選択肢があることは悪いことではないと思います。

委 員 今は介護をする立場ですが、今度は自分が介護される立場になることも考えます。  
家族の意向を踏まえることも大切だと思いますが、私としては住み慣れた自宅で生活し続けたい思いを実現できるとありがたいと思います。

委 員 本人と家族とで、人生会議をテーマに話しをしていただけると、支援がしやすいかと思います。

会 長 ありがとうございます。それでは、議題(1)につきましては、終了いたします。  
次に、議題の(2)、大垣市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について、事務局から説明をお願いいたします。

事 務 局 <<資料No.3 により説明>>

会 長 ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

(質問なし)

会 長 ありがとうございます。それでは、議題(2)につきましては、終了いたします。本日の議題は以上です。  
このほか、全体を通じて、何かございましたら、ご発言をお願いいたします。

## 会議録要旨

委員

介護保険制度が始まったときは、在宅で介護をできる制度にしようということだったと思いますが、最近では在宅ではなくて施設に入る方向になってしまったような気がします。

私の場合は、認知症の人と家族に対しての集いやカフェをやっていますが、これまでは、本人に焦点が当たっていたと思います。これからは家族にも焦点を当てていかないといけないと思います。

今年の10月から、岐阜市でまず1回目の試みとして、家族支援プログラムを開催します。介護を終えた方、現在介護中の方、疾患センターの先生、ケアマネジャー、作業療法士など、いろいろな講師を招いて、家族の方に認知症をより理解をしていただくプログラムです。

家族がゆとりをもって介護できれば、本人も穏やかに生活することができるということで、経験者の話を聞いて、いろいろと学んでいただいたり、悩みなどを話すことで気持ちを軽くしてもらえるような内容になるのではないかと考えています。

大垣市もぜひ来年度に向けて予算や家族に対する支援の計画も検討していただければありがたいなというふうに思います。

会長

大垣市も認知症カフェを増やしていく政策などに取り組んでいます。家族の方の声を聞くことはとても大事なことでと思いますし、話を聞いてくれる人が広がっていくといいなと思います。

会長

そのほか、特にご発言もないようですので、最後に、事務局からお願いいたします。

司会

ありがとうございました。会議冒頭の沼口会長のお話にもございましたとおり、昨年度は委員の皆さんのご尽力により、第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定させていただきました。

本計画につきましては、今後もこの会議の場で進捗状況を報告いたしまして、皆さんからいただくご意見等を基に、各事業の見直しや改善に繋がってまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

それでは、これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様、誠にありがとうございました。